

当院にて造血器疾患に対してご加療中の方へ

当科では2006年1月から2014年12月末までに当院でJAK2 V617F遺伝子変異解析を行った患者様における臨床経過および予後を調査する研究を行っています。

【対象となる方】

2006年1月から2014年12月末までに当院でJAK2 V617F遺伝子変異解析を行った患者様です。

【研究の目的と意義】

骨髄増殖性腫瘍とは、骨髄において赤血球や白血球、血小板が過剰に作られるようになる疾患群のことです。慢性骨髄性白血病を除く真性赤血球増加症および本態性血小板血症、原発性骨髄線維症の3疾患にはJAK2 V617F遺伝子変異が高頻度に検出されることがわかっています。そこで骨髄増殖性腫瘍の治療法を解明する前段階として、JAK2 V617F遺伝子変異の有無に層別化して臨床経過および予後を調査することが本研究の目的です。

【研究の方法】

この研究は日本赤十字社医療センター倫理委員会の承認のうえ実施されます。なお、すべて過去の検査データを用いるため、新たに患者様にご負担頂くことは全くありません。当院でJAK2 V617F遺伝子変異解析を行った患者様を対象とさせていただき、診断の一環として採取した臨床データや治療経過などの情報を研究に用いさせていただきます。

研究結果は学会や専門誌において公表されることがあります。当研究において研究結果は統計的に処理されますので、個人の特定に至る可能性のある情報は公表されません。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご要望があれば、患者様とそのご家族がお読みになるという目的に限り、この研究の実施計画書をご覧いただくことができます。研究の実施計画書は一般公開されていないため、担当医師にご依頼ください。また、この研究の全体の結果は、ご希望があれば担当医師よりお伝えいたします。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、主治医にお伝えいただくか、下記の事務局までご連絡ください。ご連絡頂かなかった場合、御了解いただいたものします。

平成 27 年 7 月

【お問い合わせ】

所属: 血液内科

職名: 医師

氏名: 新垣 清登